



令和6年度



姉妹都市提携60周年記念

パサデナ市民訪問団・青少年演奏団

来秦歓迎事業

報告書



6月18日(火)～6月29日(土)

主催：秦野市

主管：秦野パサデナ友好協会

INDEX

1	市民訪問団・青少年演奏団名簿	P1~P2
2	日程	P3
3	訪問の記録	
	《1日目》 6月18日(火)	P4
	《2日目》 6月19日(水)	P4
	《3日目》 6月20日(木)	P4
	《4日目》 6月21日(金)	P4
	《5日目》 6月22日(土)	P5~6
	《6日目》 6月23日(日)	P6~8
	《7日目》 6月24日(月)	P9
	《8日目》 6月25日(火)	P10~11
	《9日目》 6月26日(水)	P11~13
	《10日目》 6月27日(木)	P14
	《11日目》 6月28日(金)	P14
	《12日目》 6月29日(土)	P15
4	感想文	P17~24

1 訪問団名簿

① パサデナ市民訪問団

	氏名	氏名（英語）	役割分担	年齢	性別
1	プルデンシオ・レイナ	Prudencio Reyna	代表	55	男
2	クリスチャン・ガメロ	Christian Gamero	協会員	29	男
3	ミシェル・ブラント	Michelle Blunt	協会員 （市職員）	38	女
4	ローレン・ミッチェル	Lauren Mitchell	協会員 （市職員）	39	女

② 青少年演奏団

	氏名	氏名（英語）	役割分担	年齢	性別
1	スタス・ヴェングレブスキー	Stas Venglevski	監督	59	男
2	メグミ・ハダ	Megumi Hada	秘書 / 音楽家	61	女
3	ケイコ・ダニ ※本名はケイコ・オダニ	Keiko Dani	音楽家	66	女
4	イナ・ヤクベイカ	Ina Yakubeika	音楽家	48	女
5	オルガ・ダグラス ※都合により 6月24日帰国	Olga Douglas	音楽家	45	女
6	ベンセン・クワン ※都合により 6月25日帰国	Bensen Kwan	青少年 演奏団	29	男
7	アシュリー・フライ	Ashley Frye	青少年 演奏団	21	女
8	マイケル・ギブソン	Michael Gibson	青少年 演奏団	21	男
9	ジェシカ・フリッガー	Jessica Fligger	青少年 演奏団	19	女

10	ローレイ・ペック	Lorelei Peck	青少年演奏団	20	女
11	シャーロット・ペック	Charlotte Peck	青少年演奏団	18	女
12	ガブリエル・ペック	Gabrielle Peck	青少年演奏団	17	女
13	ジェレド・ペック	Jered Peck	付き添い	47	男
14	デニール・チー	Deneil Chi	青少年演奏団	15	男
15	アレクセイ・チー	Aleksei Chi	青少年演奏団	13	男
16	マイケル・チー	Michael Chi	付き添い	54	男
17	ダリア・チー	Daria Chi	付き添い	38	女
18	イヴァン・チー	Ivan Chi	付き添い	4	男
19	イゴール・ムサトフ	Igor Musatov	付き添い	62	男
20	タティアナ・ムサトフ	Tatyana Musatov	付き添い	55	女

2 日 程

日程	行程等
6月18日(火)	青少年演奏団 20 名が秦野に到着 (表丹沢野外活動センター)
6月21日(金)	市民訪問団 4 名が秦野に到着 (グランドホテル神奈中・秦野)
6月22日(土)	ウェルカム BBQ!
6月22日(土) ~23日(日)	市民訪問団 4 名がホームステイ
6月23日(日)	姉妹都市提携 60 周年記念演奏会 & 市民交流会
6月24日(月)	市民訪問団 4 名・青少年演奏団 2 名が市長表敬訪問 箱根観光
6月25日(火)	小田原観光
6月25日(火) ~26日(水)	市民訪問団・青少年演奏団がホームステイ (市民訪問団 4 名・青少年演奏団 16 名)
6月26日(水)	着物着付け体験 本町小学校、西小学校、東小学校を学校訪問 秦野戸川公園おおすみ山居でお茶会 さよならパーティー
6月27日(木)	市民訪問団が秦野を発つ
6月28日(金)	青少年演奏団主催夕食会
6月29日(土)	青少年演奏団が秦野を発つ

3 訪問の記録

《1日目》6月18日（火）

羽田空港で青少年演奏団20名をお出迎え。
フライトの遅れで一時はどうなることかと思いましたが、全員無事に日本へ到着。

予定より1時間ほど遅れ、大型バスで表丹沢野外活動センターへ。途中で買い出しを済ませ、到着は夜の7時半。大忙しの初日となりました。



《2日目》6月19日（水）

《3日目》6月20日（木）

6月23日の姉妹都市提携60周年記念演奏会に向けて、当日まで演奏団は毎日5時間以上のリハーサル。

19日の夕方には、秦野パサデナ友好協会（以下 友好協会）の六本木会長をはじめとした、協力者の方数名が、演奏団を歓迎するためにカレーライスなどをふるまいました。日本のカレーに演奏団も大満足。たくさん笑顔が生まれました。

《4日目》6月21日（金）

4日目にはパサデナから市民訪問団4名が羽田空港に到着。

友好協会からは村上理事、河口監事がお出迎え。夕方には羽田空港を出発し、秦野へ。

秦野駅近くの飲食店で夕食をとり、訪問団4名はグランドホテル神奈中・秦野に宿泊。新たな交流の第1歩となりました。



《 5 日目 》 6 月 2 2 日 (土)

5 日目は、市民訪問団・青少年演奏団を歓迎するためのウェルカムバーベキューを開催。友好協会の大草理事が司会を務め、本年 1 月に青少年訪問団としてパサデナを訪問した伊井美織さんが公式通訳を務めました。

ウェルカムバーベキューは 1 1 時に開会。六本木会長の開会あいさつに続き、高橋市長が来賓挨拶、プルデンシオさんが訪問団代表挨拶、スタスさんが青少年演奏団代表あいさつを行いました。あいさつ後は、高橋市長、六本木会長から記念品の木製名札とピンバッジを贈呈。受け取った訪問団と演奏団がひとこと自己紹介を行ったあと、飯塚監事が乾杯の音頭をとり、バーベキューが始まりました。

バーベキューには友好協会をはじめとして、過去パサデナ訪問者、ホストファミリー、通訳ボランティアなど 8 0 名以上が参加。英語の得意な参加者、そうでない参加者。それぞれのやり方でコミュニケーションを取り、たくさんの交流が生まれました。

バーベキューが終わると青少年指導員・少年野球連盟が企画したレクリエーションゲームが始まり、こちらも大盛り上がり。ストラックアウトや棒渡しなど、言葉がなくても交流が深まるレクリエーションで、参加者の距離がぐっと縮まりました。閉会の挨拶は山口安男理事が行い、ウェルカムバーベキューが終了。最高のスタートを切ることが出来ました。



《 5日目～6日目 》【 ホームステイ① 】

6月22日（土）～6月23日（日）

ウェルカムバーベキューが終わるとパサデナ市民訪問団の4名はホームステイ。

ホストファミリーからあたたかな歓迎を受けました。



① 永原綾子さん（プルデンシオさんのホストファミリー）
初めて訪問団をお迎えするお手伝いをさせていただく機会を得て、とても楽しく貴重な体験をすることができました。

事前にメールで興味があると伺っていた、万葉の湯、百均、ロピアへ。山ほどの買物を楽しんだ後、夕食はお好み焼き。米国の教育や学校の様子、トランプ前大統領の話など幅広い話題が尽きることなく、とても楽しい時間でした。

英語講師の私にとっては英語でたくさんコミュニケーションできる絶好の、英語猛勉強中の娘にとってはやる気を倍増させる、英語は苦手だけれど楽しいことが好きな主人にとってはとても刺激的な機会になりました。

② 細越徹哉さんご夫妻（クリスチャンさんのホストファミリー）

ホームステイで受け入れることができ、世界観が広がりよかったです。また、クリスチャンが日本語を話そうと努力していたので、助かりました。彼が勉強していた、無料の語学勉強アプリで英語を勉強し始めることにしました。



③ 渡邊栄美さん（ミシェルさん&ローレンさんのホストファミリー）

遠いアメリカの姉妹都市、パサデナを身近に感じられ、家族で楽しい時間となりました。見慣れた当たり前の日本の景色が、今回の体験で、改めてその良さに気付くことができました。

《 6 日 目 》 6 月 2 3 日 (日)

6 日目は、秦野市とパサデナ市の姉妹都市提携 6 0 周年を記念した演奏会の当日。世界的に有名なアコーディオン奏者スタス・ヴェングレブスキー氏率いる、アメリカ全土から集まった青少年演奏団がクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の大ホールで演奏を行いました。



演奏会は、友好協会大津理事が司会、野呂副会長が公式通訳を務め、14時に開演。六本木会長が開演の言葉を申し上げた後、演奏会の企画・開催に大きく関わり、友好協会の活動に大きく貢献した故相原啓子事務局長に黙とうを捧げました。

続いて、秦野市長から主催者挨拶、横山秦野市議会議長、神倉県議会議員、谷県議会議員が来賓挨拶を行った後、ジェフ・ワーグナーパサデナ市長からのビデオメッセージが会場に投影されました。

第1部では、スタスさんと、秦野市にゆかりのある演奏家が共演。「糸竹舎」佐藤ひとみさんの琴との共演に始まり、「フォーライフ」木次谷紀子さんのマリンバ、太鼓集団「鼓粋」を率いる加藤修さんの太鼓演奏、秦野観光和太鼓の太鼓演奏と共演し、多彩なステージを繰り広げました。

第2部はタップダンサー猪俣昌也さんのタップダンスに始まり、青少年演奏団14名の演奏が開始。映画音楽のメドレーやクラシックの名曲に始まり、団員が作曲したオリジナル曲を演奏。素晴らしい演奏で、多くの感動が生まれました。



第2部の演奏が終了すると、青少年演奏団代表としてスタスさんが、演奏団の秦さんの通訳のもと、ひとことご挨拶を申し上げました。続いて、友好協会の佐野顧問から、花束が贈呈されました。

最後に、演奏会出演者全員共演による「月は輝く」の演奏を行い、フィナーレ。非常にたくさんの方に御協力いただき、演奏会には約1,100名が来場する大成功の結果となりました。

演奏会が終わると、大ホール前のホワイエで交流会が行われました。来場者は団員に興味津々。通訳ボランティアにも御協力いただき、よりいっそう交流が深まりました。

《 7 日 目 》 6 月 2 4 日 (月)

演奏会の翌日は、秦野市役所で高橋市長を表敬訪問しました。

市民訪問団 4 名と、演奏団からは代表としてスタスさんと秦さんが、市役所を訪問しました。



表敬訪問後は市民訪問団・青少年演奏団全員で箱根観光へ出発。

大型バスで移動後、12時30分ごろレストランブライで昼食。昼食後は大型バスで元箱根港へ移動し、海賊船でロープウェイ乗り場へ。

ロープウェイで移動し、15時ごろ大涌谷に到着。1時間ほど大涌谷を観光し、大型バスで夕食会場へ。

17時30分ごろ、御殿場高原ビールグランテーブルで夕食。

夕食後、大型バスで秦野へ向かい、20時15分ごろ解散。天候にも恵まれ、大盛り上がりの1日となりました。



《 8 日目 》 6 月 2 5 日 (火)

8 日目は、希望者を募り小田原観光。演奏団 1 7 名と市民訪問団からはクリスチャンさんが参加。小田原観光後ホームステイを受け入れるホストファミリーや友好協会会員も参加し、午前 9 時ごろ大型バスで野外センターを出発。

小田原城址公園に到着後、小田原城天守閣等を見学。日本の歴史や文化に触れました。



小田原城付近を観光し、大型バスで 1 1 時 4 5 分ごろ昼食会場へ。

昼食は鳥かつ楼でうな重。事前にとり重とうな重どちらが良いか確認したところ「新しいものに挑戦してみたい」とほぼ全員がうな重をチョイス。新たな日本の食文化との出会いとなりました。

最後は小田原の複合商業施設「ミナカ小田原」で各々ショッピングや観光を楽しんだ後、1 4 時ごろ小田原を出発。1 5 時ごろ野外センターに到着しました。

その後は野外センターで 1 1 組のホストファミリーがお迎え。それぞれのホスト宅へと向かいました。

《 8日目～9日目 》

【 ホームステイ② 】

6月25日（火）～6月26日（水）

小田原観光後は、11組のホストファミリーとホームステイ。たくさんのホストファミリーがホームステイを希望する訪問団員、演奏団員計20名を迎えました。



ホスト家庭によっておもてなしは様々。ショッピングモールや温泉体験、ミニコンサートやお寺の見学、庭先での花火など、それぞれのやり方で交流を深め、互いの文化を語り合いました。

行きたいところへ行った後は夕食時。食事も家庭によって様々で、和食を食べたり、しゃぶしゃぶをしたり、お寿司を食べたり、そば打ちをしたり。お寺の住職の家庭では、精進料理がふるまわれることも。

秦野の家庭の食文化を体験し、たくさんの驚きと感動が生まれました。



《 9 日目 》 6 月 2 6 日 (水)

ホームステイが終わると、各ホストファミリーが訪問団・演奏団を野外センターへ送迎。別れを惜しみながら、9日目に突入。

6月26日は、体験行事が盛りだくさん。午前9時ごろから、着付け体験開始。日本舞踊の岩井先生に着付けをしていただき、あっという間に着物姿に。



着付け後は着物のまま、日本舞踊の体験。扇子や和傘を用いて踊りましたが、さすがは演奏家。間の取り方を覚えるのがとても早いと、岩井先生が驚いていました。

お昼前に着付け体験が終わり、次は小学校訪問。姉妹校である本町小学校、西小学校と、今回協力していただいた東小学校へ。

秦野の子どもたちとふれあいながら、学校給食をいただいた後、各学校の子どもたちとの交流会や発表会が開かれ、心温まる交流を満喫しました。



学校訪問の後は、秦野戸川公園・おおすみ山居で茶道体験。武家茶道「織部流」糟谷先生のお点前を、通訳ボランティアのアンドラディさんが訳し、英語で解説。作法を学びながら、おいしいお茶とお饅頭をいただき、日本文化の一端を感じるひとときとなりました。

16時前に茶道体験を終えると、次はさよならパーティ。市民訪問団・青少年演奏団との別れを惜しみ、友好協会の会員をはじめとした、60周年記念事業の協力者、ホストファミリー、通訳ボランティアなど、総勢60余名が集まりました。



市主催のさよならパーティは、17時30分に開会。高橋市長からの挨拶の後、来賓として六本木会長がご挨拶。訪問団からブルデンシオさんが代表挨拶をした後、乾杯。ビュッフェ形式で食事を取りながら、共に過ごした日々の思い出を語りました。



ひとしきりお食事と歓談を楽しんだ後は、余興のはじまり。1番手は友好協会から、田中節子さんの詩吟発表。四百年前に初めて富士山を見た、石川丈山の感動を、心を込めて吟じました。

詩吟の次は英語劇。通訳ボランティア・ホストファミリーとしてもご協力いただいた、久保寺節子さんをはじめとした6名からなる「おから塚喜劇団」が「水の無い川」を演じました。

余興の締めは、スタスさんのアコーディオン演奏。哀愁を帯びたバヤンの演奏に、過ごした日々と別れの寂しさが思い起こされ、涙を浮かべる参加者も。演奏団の秦さんや、タップダンサーの猪俣さんとも共演し、余興は終わりました。秦野市文化スポーツ部宇佐美部長の挨拶の後、別れを惜しみながらの閉会となりました。



《10日目》6月27日（木）

10日目は、市民訪問団4名が帰国しました。

午前6時半に神奈中ホテルを出発し、羽田空港へ。代表のプルデンシオさんは「秦野は私の第二の故郷のようなものです」と話していたそうです。たくさんの思い出を、ありがとうございました。



《11日目》6月28日（金）

青少年演奏団一行は、27日、28日と自由行動。各々行きたい場所へ向かい、東京・浅草観光や回転寿司を楽しんだそうです。

28日の夕方は、演奏団主催の夕食会。自由行動の日程の中、最後に秦野の皆さんへお礼としておもてなしをしたいとの申し出に、40人以上のゲストが参加。

J Aはだの女性部の協力のもと行われた太巻きづくり体験や、「よさこいゆきみ」の演舞、演奏団一行の用意した国際色豊かな料理、レクリエーション、サプライズコンサートなど、大盛り上がりの夕食会となりました。



《 1 2 日 目 》 6 月 2 9 日 (土)

1 2 日 目 は 演 奏 団 の 滞 在 最 終 日 。

午 前 1 1 時 頃 野 外 活 動 セ ン タ ー を 出 発 し 羽 田 空 港 へ 。 友 好 協 会 会 員 や 通 訳 ボ ラ ン テ ィ ア 、 ホ ス ト ファ ミ リ ー な ど 、 演 奏 団 を 見 送 る た め に 多 く の 方 々 が 野 外 セ ン タ ー に 集 ま り ま し た 。

演 奏 団 の う ち 数 名 は そ の 後 も 日 本 に 滞 在 を 予 定 し て い た た め 、 演 奏 団 一 行 は 空 港 で 解 散 。 多 く の 人 の 協 力 で 成 り 立 っ た 6 0 周 年 記 念 事 業 が 終 わ り 、 た く さ ん の 新 し い 交 流 が 生 ま れ ま し た 。 秦 野 市 ・ パ サ デ ナ 市 、 お 互 い に と っ て 忘 れ ら れ な い 思 い 出 と な っ た こ と と 思 い ま す 。 ご 協 力 い た だ い た 皆 様 、 あ り が と う ご ざ い ま し た 。

